

(血管内皮機能検査(Endo-PAT)と蛋白尿との関連) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2017年12月16日承認 ～ 2022年 3月 31日

〔研究課題〕 新規血管内皮機能検査 (Endo-PAT) とアルブミン尿との関連について

〔研究目的〕 Endo-PAT は手指にセンサーをつけて血管内皮機能を測定する、簡便で非侵襲的な検査です。当院でも検査ができるようになり、医師の裁量により患者さんの診療に使われています。しかしこの検査がどの程度、血管内皮機能を反映しているのかよく分かっていません。アルブミン尿(蛋白尿)は血管内皮機能のバイオマーカーとして良く知られています。今回 Endo-PAT とアルブミン尿との関連を調べることで、この検査の有用性を研究します。

〔研究意義〕 Endo-PAT がアルブミン尿と関連し、血管内皮機能として有用であることが証明されれば、Endo-PAT は血管内皮機能障害からくる脳卒中、心筋梗塞などの心血管合併症のリスクを予測する一つの検査となります。

〔対象・研究方法〕 当院で過去(平成29年12月16日まで)に Endo-PAT が行われた全症例について、当院の電子カルテを用いて調査します。調査内容は、年齢、性別、身長、体重、血圧、血液検査結果、尿検査結果、生理機能検査結果、画像検査結果、喫煙歴、既往歴、内服歴などです。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院第四内科

〔個人情報の取り扱い〕 本研究に係わる全ての情報の取り扱いには被検者の秘密保護に十分に配慮し、得られたデータは匿名化します。

〔その他〕 本研究は過去のデータを用いるものであり、特に患者さんの健康被害はなく、研究に参加することによる謝礼金も発生しません。またこの研究の参加を拒否される場合でも患者さんに不利益は生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 第四内科 講師 永山 嘉恭

研究分担者： 同 准教授 鈴木 伸明、同 病院教授 速水 紀幸、同 主任教授 原 眞純

住所： TEL： 044-844-3333 (代表) [内線 8019 永山]